

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	<a href="http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/">http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 【株式のお手続きに関するお知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

1	優待内容	株主の皆様からのご支援に対し、感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
	優待の基準	株式保有数 100株以上=3枚
2	対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。
3	贈呈時期	毎年11月下旬に発送を予定しております。



## IRメール配信サービスを実施しています！

社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

お問合せ 株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 Tel. 03-5275-4311

## 携帯電話にも配信可能です！

PCだけでなく、携帯電話にも同一の内容を配信することが可能です。登録方法は以下の通りです。

1. 右記のバーコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取り。
2. 読取ったアドレスに空メールを送信。
3. 登録完了！次回配信号より携帯電話宛にメール配信を行います。



# 株主の皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

情報サービス業界におきましては、景気の先行きの不透明感から厳しい受注環境が継続しましたが、当社の第2四半期の業績は、前年同期比で売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも「増収・増益」となり、第2四半期計画比でも売上高、経常利益が「ほぼ計画どおり」という結果となりました。事業環境は依然として厳しい状況にありますが、今後も案件創出とそれを確実に受注につなげる活動に注力すると共に、「粗利益」確保に向け原価マネジメント強化等の施策を強力に推進してまいります。

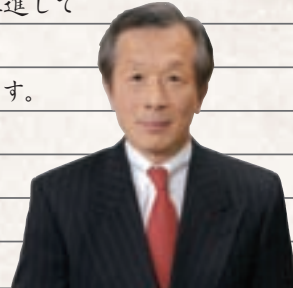
併せて、リスクを把握し、常に先手を打ちながら、今年度業績予想の達成を目指します。

なお、当期配当金につきましては、従来予想どおり1株当たり40円を予定しております。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年11月

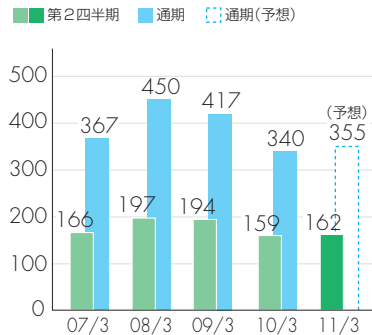
代表取締役社長 鹿島 亨



## 連結財務ハイライト

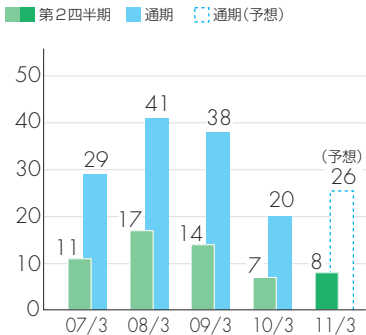
### 売上高

(単位:億円)



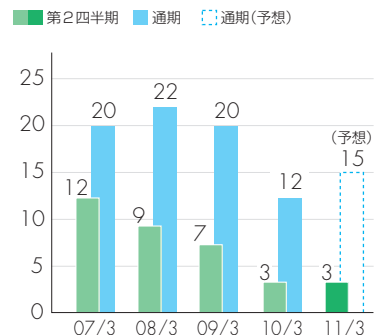
### 経常利益

(単位:億円)



### 四半期(当期)純利益

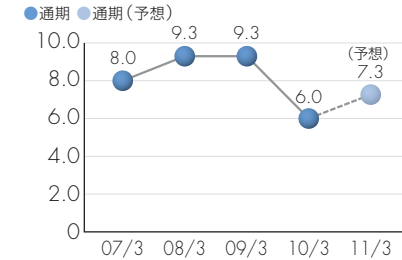
(単位:億円)



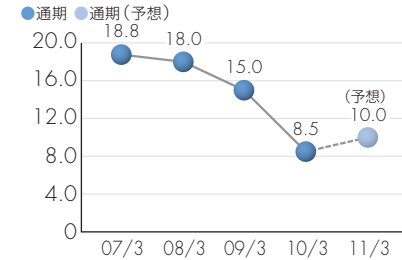
技術センター売却益9億円を計上しています

(注) 2011年3月期予想は、2010年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

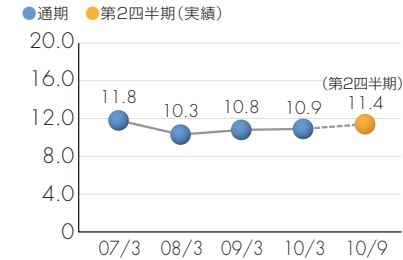
### 連結売上高経常利益率 (単位:%)



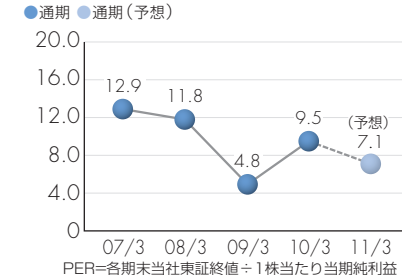
### 連結自己資本当期純利益率(ROE)(単位:%)



### 連結販管費比率 (単位:%)

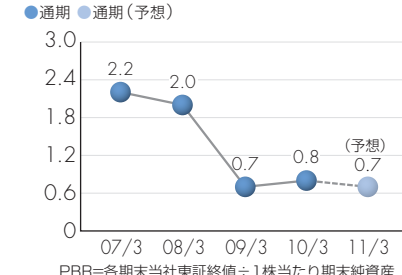


### PER(株価収益率) (単位:倍)



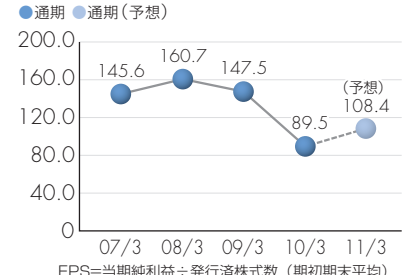
PER=各期末当社東証終値÷1株当たり当期純利益

### PBR(株価純資産倍率) (単位:倍)



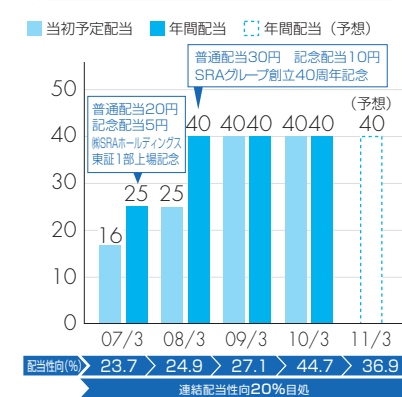
PBR=各期末当社東証終値÷1株当たり期末純資産

### EPS(1株当たり当期純利益) (単位:円)



EPS=当期純利益÷発行済株式数(期初期末平均)

### 1株当たり配当金 (単位:円)

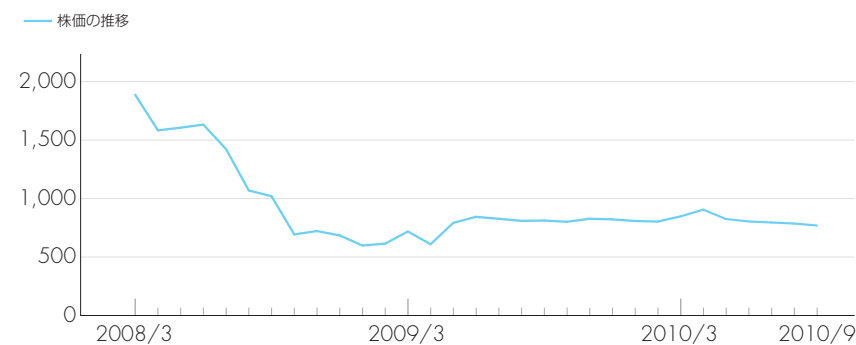


配当性向(%) 23.7 > 24.9 > 27.1 > 44.7 > 36.9

連結配当性向20%目標

### 株価チャート

(単位:円)



# SRAグループの事業内容

どこのメーカー／ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・

## お客様にとって最適な選択肢を提供できる！


### SRAグループのソフトウェア業界における位置づけ

「独立系」のメリットを活かし、ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のメーカーやユーザーに偏ることなく、**中立な立場で真に最適な選択肢を提供**することができます。これは、お客様にとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在価値であると考えています。

### SRAグループの3つの強み

## SRAグループは3つの強みを活かして次のステージでの展開をめざします。

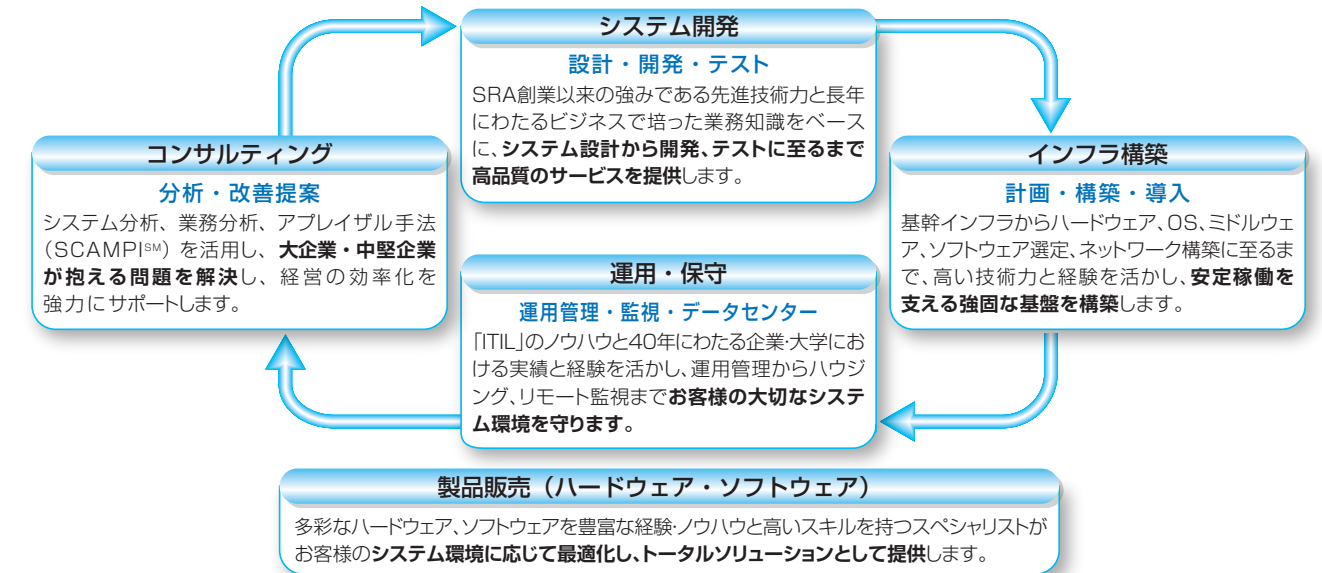
3つの強みを活かしてITに求められる「スピード」、「クオリティ」、「コスト」を満たすシステムを提供し、お客様の競争力強化、成長および収益の向上に貢献するよう努めています。



- 技術先進性**  
 創業以来、「**技術のSRA**」としての定評があります。最近では、注目度の高いオープン・ソース・ソフトウェア、SOA、SaaSへの展開においても技術優位性を確立するとともに、先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。
- グローバル・リーチ**  
 業界に先駆けて海外拠点を設け、アメリカ、ヨーロッパ等の海外ネットワークにより、日系グローバル企業・現地企業のお客様に対して、**高付加価値のグローバルサポートサービスを提供**しています。また、収益性の向上を目的に、インド・中国のオフショア開発を積極的に推進しています。さらに、インド・中国 / アジアをビジネス市場としても捉え、ビジネス展開を図っていきます。
- 優良顧客基盤**  
 金融、製造、流通等の**各業界のリーディングカンパニーをはじめとする大企業、中堅企業をお客様とし**、継続的・安定的なビジネスを展開しています。また、IT技術を駆使している新規の優良なお客様に対しても、案件マネージメント強化と顧客セグメント別マーケティングを実践し、ビジネスを拡大しています。

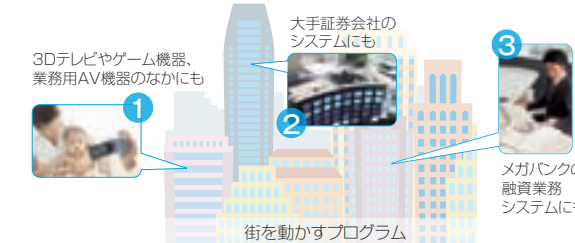
### システム・ライフサイクル

SRAグループは、コンサルティングからシステム開発、インフラ構築、運用・保守に至るITシステムの**ライフサイクル全般**において、高水準のサービス・製品を提供しています。



### SRAグループの技術

皆様の身近なところにもSRAグループの様々な先端技術が活かされています。



### 動かしているのは、SRAグループの技術です。

- 1 電機メーカー** 高機能の新製品が次々と発売される家電業界。3Dテレビ、ブルーレイレコーダ、高機能ゲーム機器、業務用AV機器…。これらの中核部分にもSRAグループの先進技術が活かされています。
- 2 証券会社** 株式をインターネットで売買する時代。高い信頼性が求められる証券会社のオンライン・トレードシステム。大手証券会社のシステムにも、SRAグループの技術力とノウハウが活かされています。
- 3 銀行** 正確性・安定性はもちろん、業務効率や高度なセキュリティも求められる銀行のシステム。メガバンクの根幹業務である融資業務システムにもSRAグループの高い技術力と金融分野での豊富な業務ノウハウが活かされています。

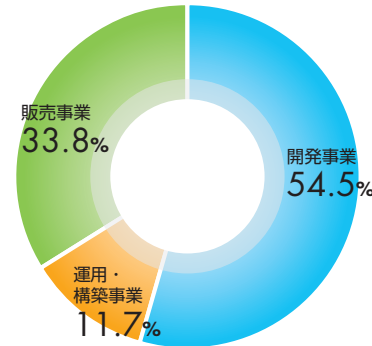
# 事業別セグメント情報

●事業セグメント別売上高の推移 (単位: 百万円)

事業セグメント	項目	2011年3月期		2010年3月期	
		当第2四半期	前第2四半期	通期	通期
開発事業	売上高	8,882	8,368	17,831	
	営業利益	965	764	2,016	
運用・構築事業	売上高	1,910	2,091	4,130	
	営業利益	385	470	970	
販売事業	売上高	5,503	5,506	12,091	
	営業利益	371	317	803	

(注) 営業利益は、セグメント間の内部取引を含んでおり、配賦不能な営業費用を含んでおりません。

●売上高構成比 (2010年4月1日~2010年9月30日)



## 開発事業

売上高は、銀行向けが減少したものの、製造および電力向けが増加した結果、前年同期比6.1%の増加となりました。

## 運用・構築事業

売上高は、大学関連が増加したものの、企業関連では顧客の内製化等で運用事業が減少し、前年同期比8.7%の減少となりました。

## 販売事業

売上高は、株式会社AITがサーバーを中心とする中規模案件を継続的に受注した結果、前年同期並みの実績となりました。

# グローバル・リーチ

SRAグループは国内・海外のネットワークを活用し  
グループ・シナジーのさらなる強化を図ります。

### 株式会社SRA東北

- 株式会社SRAホールディングス
- 株式会社SRA
- 株式会社ソフトウェア・サイエンス
- 株式会社AIT
- 株式会社SRAプロフェッショナルサービス
- 株式会社クレディスト
- SRA OSS, Inc. (日本支社)

### 株式会社SRA(中部事業所)

### 株式会社SRA(関西事業所)

### 株式会社SRA西日本

### 株式会社SRA西日本(広島事業所)

●所在地別セグメント情報 (単位: 百万円) (2010年4月1日~2010年9月30日)

所在地別セグメント	売上高
海外	1,479
日本	14,817

●所在地別売上高構成比



SRA AMERICA, INC. (米国ニューヨーク州)

SRA OSS, Inc. (米国カリフォルニア州)

InterTech Data Systems, Inc. (米国カリフォルニア州)

ヨーロッパ

アジア

北米

南米

大連愛鴻軟件有限公司 (中国)

Software Research Associates South East Asia Pte. Ltd. (シンガポール)

SRA India Private Limited (インド)

SRA(Europe)B.V. (オランダ)



# 先進技術

## オープンソースソフトウェアにおける優位性 -SRA-



Linuxや「PostgreSQL」に代表される**オープンソースソフトウェア**は、今や社会基盤を支える存在です。東京証券取引所の新しい株式売買システムArrowheadをはじめ、日本の主要メーカーの薄型テレビ、さらには携帯電話にまでと、ありとあらゆる場面でオープンソースソフトウェアが活用されています。アメリカで成功したGoogleやAmazonもオープンソースソフトウェアを活用することで大きく成長しており、オープンソースソフトウェアが企業の競争力の源泉ともなっています。

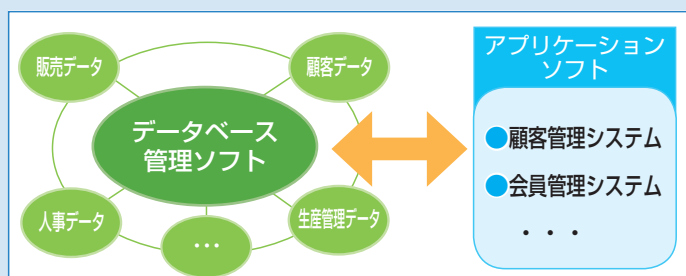
SRAは同業他社に先駆けて、1980年という早い時期からオープンソースソフトウェアに注目し、OS・ミドルウェア・アプリケーションの全ての領域をカバーしたビジネスを展開してきました。2005年には、世界市場をターゲットにSRA OSS, Inc.（以下SRAOSS）を米国に設立し、オープンソースソフトウェアビジネスの一層の展開を目指しています。

SRAが注力してきたオープンソースソフトウェアの一つに、システムの中核を支える**データベース管理ソフト**「PostgreSQL」（通常「ポストグレス」と読みます）があります。PostgreSQLは、アメリカのカリフォルニア大学バークレー校で開発されたPostgresをベースに、世界有数の技術者が参加するコミュニティで改良を重ねてきました。SRAOSS日本支社長の石井達夫は、“コミッタ”と呼ばれる開発者として、長年に亘りPostgreSQLの開発に関わり、その貢献により2008年の**「日本OSS貢献者賞」**を受賞しています。

### もっと詳しく

#### ※データベース管理ソフトとは

大量の情報を効率的に蓄積・管理し、様々な要求に応じて高速に検索、提供するソフトウェア。企業が大量の情報を扱う際には、必要不可欠な存在である。



データベース管理ソフトは、ソフトウェアの複雑性と求められる高い信頼性から、従来は、非常に高価な商用ソフトウェアの利用が主流でした。しかし、現在、PostgreSQLは、ほとんどの用途において、機能、性能ともに商用ソフトウェアに劣ることなく、ITコスト削減が叫ばれる昨今では各方面で重用されデータベース管理ソフトとしての地位を確立しています。

SRAOSSでは、PostgreSQLを利用してシステム開発を行うベンダー、ユーザー向けの支援サービスを行うとともに、PostgreSQLをベースとし、使いやすさを追求した管理ツールおよび長期サポートを提供するオリジナルデータベース「PowerGres」を販売しており、キリンビジネスシステム株式会社、株式会社カプコンをはじめ多くの企業、大学で採用されています。

オープンソースソフトウェアを活用したSRAの代表的な自社製品としては、

- MailDepot： 内部統制に最適なメールアーカイブ
- CodeDepot： ソフトウェア開発・保守の効率を飛躍的に向上させるソースコード高速検索エンジン
- UniVision： あらゆる文教システムを統合した大学事務ソリューションで50校以上に導入実績

があげられます。

SRAグループは、これからもオープンソースソフトウェアにおける技術優位性と経験・ノウハウを活かしビジネスを推進するとともに、クラウドへの展開も視野に、「製品ビジネス」の拡充を図ります。

### 用語解説

#### ※オープンソースソフトウェア：

ソフトウェアの設計図ともいえる「ソースコード」が公開され、誰でも自由に利用可能なソフトウェア。世界中の優秀な技術者が開発しており、数多くの品質の高いソフトウェアが提供されている。ただし、ソースコードを解読し、活用できる技術者は限られている。

#### ※日本OSS貢献者賞：

日本OSS推進フォーラムと独立行政法人情報処理推進機構によって創設。日本におけるオープンソースソフトウェア開発の振興を図ることを目的に、卓越した開発者や普及に貢献した人を表彰。なお、SRAOSSの山本博之は、メールクライアント「Sylpheed」の開発で2005年に、SRAの曾田哲之はOS（オペレーティングシステム）「NetBSD」の開発で2010年に同賞を受賞している。

# 連結財務諸表

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>17,763</b>	<b>19,337</b>
<b>固定資産</b>	<b>7,759</b>	<b>7,867</b>
有形固定資産	240	172
無形固定資産	646	701
投資その他の資産	6,873	6,993
<b>資産合計</b>	<b>25,522</b>	<b>27,204</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>6,750</b>	<b>7,576</b>
<b>固定負債</b>	<b>4,098</b>	<b>4,498</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,849</b>	<b>12,075</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>14,636</b>	<b>14,792</b>
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	10,046	10,202
自己株式	△ 894	△ 894
<b>評価・換算差額等</b>	<b>7</b>	<b>281</b>
<b>新株予約権</b>	<b>29</b>	<b>19</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>—</b>	<b>36</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,673</b>	<b>15,129</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>25,522</b>	<b>27,204</b>

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
売上高	16,297	15,967
売上原価	13,638	13,409
売上総利益	2,658	2,557
販売費及び一般管理費	1,859	1,869
営業利益	799	687
営業外収益	90	55
営業外費用	34	33
経常利益	854	709
特別利益	—	0
特別損失	154	43
税金等調整前四半期純利益	700	665
法人税、住民税及び事業税	293	383
法人税等調整額	10	△ 73
少数株主利益	—	0
四半期純利益	396	355

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	202	1,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 555	△ 1,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 710	△ 584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 73	3
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,137	△ 869
現金及び現金同等物の期首残高	10,324	11,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,187	10,883

# 株式の状況・会社概要 (2010年9月30日現在)

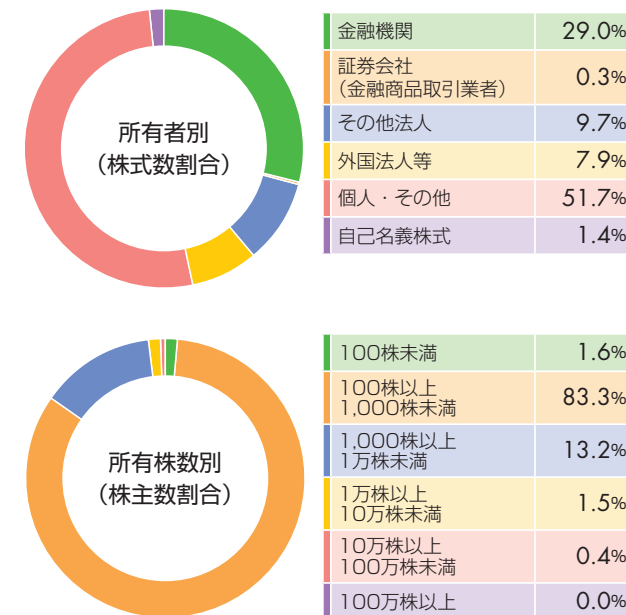
## ●株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	6,018名

## ●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
株式会社SRA	1,190	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	937	6.1
SRAホールディングス社員持株会	640	4.2
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
野村信託銀行株式会社(投信口)	504	3.3

## ●株式分布状況



## ●会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本社オフィス	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート28階
登記上本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	1991年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業 および販売事業を営む事業会社の統括 管理
従業員数	1,696名

## ●役員

代表取締役会長	丸森隆吾
代表取締役社長	鹿島亨
常務取締役	谷野寛
常務取締役	富田博
取締役	金崎俊明
常勤監査役	室伏仁
監査役	櫻井通晴
監査役	竹谷智行
会計監査人	太陽ASG有限責任監査法人

## お知らせ

株主通信を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。次回の第3四半期株主通信の発行は2011年2月下旬～3月上旬を予定しております。年度計画達成に向けグループ各社の優位性を活かしながら努力邁進しておりますので、今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SRAホールディングス